

題：「区役所に認知症と思われる方がいらしたら」

キャスト ナレーション：

A さん：

B さん：

C さん：

《ナレーション》（何か BGM あるといいですね）

ここは「すずらん区役所」保険年金課の窓口です。お年寄りの方（A さん）エレベーターから降りてこちらにやってきます。窓口には今年入庁した新人職員の B さんが当番に出ていました。

A さん 「ここは区役所かい？」

B さん 「そうですよ。今日は何のご用件でいらっしゃったのですか？」

A さん 「何の用って……。用がなくちゃ来ちゃいけないのかい！」

B さん （どまどい気味に）「そういうわけではありませんけど……。えーっと、こりゃ困ったな」

A さん 「あーそうそう、保険証がなくて困ってるんだ！」

B さん （ホッとして）「あ、そうだったんですか。なくされたんですね？それはお困りでしょう。すぐに再発行の手続きをしますからね。」

A さん 「そうじゃないよ！一度ももらっていないんだ！」

B さん 「そんなはずはありませんよ！みなさんにちゃんとお送りしているはずですから」

A さん 「それじゃあ、わしがウソをついているとでもいうのかね！」

B さん 「そ、そういうわけじゃないけど……」

A さん 「年寄りには病院にもかかれないうつていうのか！？」

B さん 「（少しむっとした口調で）そんなこと言ってませんよ！困ったなあ。先輩に聞いてみよう」（A さんに何も言わずに奥に行く）

「あ、C 先輩、この方が、保険証がなくなって困っているというので再発行しようと思うんですが、なくしたんじゃなくて最初からもらっていないって言い張るんですよ。どうすればいいでしょう」

C さん 「ああ、その人はしょっちゅう保険証がないって言うけどね、本当は家にあってどこにしまったかわからないだけなんだよ。認知症だからね。」

B さん 「認知症？どういうことですか？」

C さん 「ええ？それは私も詳しくはわからないけど、ああそうそう、ボケのことさ。年取ったらみんなそうなるんだよ。」

B さん 「そ、そうなんですか？」

C さん 「そうなんだよ、仕方ないんだよ。さあ、あんまり相手にしなくていいから。適当に言って帰ってもらいなさい。」

Bさん 「そうかあ、ボケじゃあ何を言ってもわからないよな」
Cさん 「いつも後で家族が探しに来たり謝りに来るんだよ。ホントに困ったもんだよ家族もねえ、鍵でもかけて家から出られないようにしておくか、施設にでも入れて欲しいよな」
Bさん 「(困った感じで) そこまで言っているのかなあ?・・・」
(5~6秒の間)
Aさん 「いつまで待たせるんだ!」
Bさん 「あ、すいませ〜ん。(気を取り直して、毅然と) もしもし、あのねえおじいちゃん、役所は忙しいんだからね。次の人がまっているんだから、あんまり困らせないで、早く帰ってくださいね」
Aさん 「保険証は!」
Bさん 「家でよく探してください!」
Aさん 「保険証をよこせー!」
Bさん 「大きな声を出さないでくださいよ!警察を呼びますよ!」
Aさん 「保険証を寄こさないなら帰らないぞー!」
Bさん 「ああ、困ったなあ!」
Aさん 「わしだって困ってるんだ! (大声で) 責任者、出てこ〜い!」

(BGM)

《ナレーション》

さあ、大騒ぎになってしまいました。どうしてこうなってしまったのでしょうか?みなさんでしたら、どのように対応しますか?

では、これから短時間グループで話し合ってください。

BさんやCさんの対応はどうだったのでしょうか?どこが間違っていたのか話し合ってみてください。次に、どんな対応が望ましいのか話し合ってください。そして、望ましい対応の寸劇を作って発表していただきたいと思います。

では、お時間は〇〇分です、さっそくお願いします。